

大阪マラソン組織委員会(第17回)

日 時 平成28年3月29日(火) 10時～

場 所 シティプラザ大阪 2階 旬(しゅん)

出席者 (別紙のとおり)

次 第 ○はじめに

○議 事

- 1 大阪マラソン組織委員会設置要綱の一部改正について
- 2 第5回大阪マラソンの結果報告について
- 3 第6回大阪マラソンについて
 - (1) 大会要項について
 - (2) マラソンコースについて
 - (3) ランナー募集について
 - (4) チャリティ事業について
 - (5) ボランティアについて
 - (6) 今後の主なスケジュールについて
- 4 第6回大阪マラソンに向けた検討内容について

○おわりに

【配布資料一覧】

- | | |
|------------------------------|---------|
| ■ 大阪マラソン組織委員会設置要綱の一部改正について | 《資料1》 |
| ■ 第5回大阪マラソンの結果報告について | 《資料2》 |
| 第5回大阪マラソン参加ランナー・観客への調査結果(概要) | 《資料2-1》 |
| ■ 第6回大阪マラソン 大会要項概要(案) | 《資料3》 |
| ■ マラソンコースについて | 《資料4》 |
| ■ ランナー募集について | 《資料5》 |
| ■ チャリティ事業について | 《資料6》 |
| ■ ボランティアについて | 《資料7》 |
| ■ 今後の主なスケジュールについて | 《資料8》 |
| ■ 第6回大阪マラソンに向けた検討内容について | 《資料9》 |

大阪マラソン組織委員会(第17回) 出席者委員名簿

日 時:平成28年3月29日(火)10:00~11:00 (シティプラザ大阪2階旬)

役 職	人数	所 属・役 職	氏 名	出 欠	代理出席者役職	代理出席者氏名
顧 問	4	大阪府知事	松井 一郎	(欠席)		
		大阪市長	吉村 洋文	(欠席)		
		大阪府議会議長	今井 豊	(欠席)		
		大阪市会議長	東 貴之	(欠席)		
会 長	1	一般財団法人大阪陸上競技協会会長	松本 正義	出席		
副会長	3	大阪府副知事	新井 純	(欠席)		
		大阪市副市長	鍵田 剛	出席		
		一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事	竹内 章	出席		
委 員	29	読売新聞大阪本社代表取締役社長	杉山 美邦	代理出席	執行役員事業本部長	橋本 誠司
		大阪市地域振興会会長	北尾 一	出席		
		大阪府商店街連合会会長・大阪府商店街振興組合連合会理事長	辰野 邦次	(欠席)		
		大阪市商店会総連盟理事長	角 正基	出席		
		公益社団法人関西経済連合会会長	森 詳介	(欠席)		
		大阪商工会議所 会頭	尾崎 裕	代理出席	地域振興部次長	楠本 浩司
		一般社団法人関西経済同友会代表幹事	村尾 和俊	(欠席)		
		公益財団法人大阪観光局会長	福島 伸一	(欠席)		
		公益財団法人大阪体育協会会長	牧野 明次	代理出席	事務局長	本田 勝士
		大阪府体育連合会会長	田中 誠太	出席		
		大阪府スポーツ推進委員協議会会長	斉喜 博美	出席		
		大阪市体育協会会長	新堂 友衛	代理出席	事務局次長	橋本 利三
		大阪市体育厚生協会会長代行	濱田 麗史	出席		
		大阪市スポーツ推進委員協議会会長	轟田 雄二	(欠席)		
		大阪府障がい者スポーツ協会会長	橋爪 静夫	出席		
		社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長	山田 俊平	出席		
		一般社団法人大阪府医師会会長	伯井 俊明	(欠席)		
		国土交通省近畿地方整備局長	山田 邦博	(欠席)		
		国土交通省近畿運輸局長	天谷 直昭	代理出席	観光部観光企画課課長	番能 幸晴
		阪神高速道路株式会社代表取締役社長	山澤 俱和	(欠席)		
		大阪府府民文化部長	大江 桂子	出席		
		大阪府府民文化部都市魅力創造局長	岡本 圭司	出席		
		大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課長	植山 勝秀	代理出席	保健体育課課長補佐	中島 彩子
		大阪市経済戦略局長	井上 雅之	(欠席)		
		大阪市交通局長	藤本 昌信	代理出席	事業管理本部営業部長	新川 広樹
		大阪市経済戦略局スポーツ部長	小林 大祐	出席		
		一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事	北田 耕之	出席		
		一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事	上田 重隆	出席		
		株式会社ケイ・オプティコム代表取締役社長	藤野 隆雄	出席		
監 事	2	大阪商工会議所常務理事・事務局長	児玉 達樹	(欠席)		
		一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長	樋元 四郎	出席		

大阪マラソン組織委員会設置要綱

(設置)

第1条 大阪マラソン開催に必要な事業・運営計画の検討・実施など、その具体的な開催業務を推進していくため、大阪マラソン組織委員会(以下、「委員会」と言う。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 大阪マラソン開催にかかる事業・運営計画の検討・実施及び同マラソンの開催に伴い実施する関連事業の企画・実施
- (2) その他、前項の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

2 委員会に会長、副会長を置き、委員の互選によりこれらを選出する。

(任期)

第4条 委員の任期は平成28年3月31日までとする。

2 委員会の委員は会長が委嘱する。

(会長及び副会長の職務)

第5条 会長は、委員会を代表し、委員会を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する副会長がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。

なお、可否同数のときは、議長が決する。

3 会議に出席できない委員は、書面または代理人をもって表決に加わることができる。

4 前項の場合には、第2項の規定の適用については、出席したものとみなす。

5 会議は書面をもって会議に代えることができる。

(関係者の出席)

第7条 委員会が必要であると認めた場合は委員以外の関係者の出席を求め、その意見等を聴取することができる。

(専門部会等の設置)

第8条 委員会の事務を補助させるため、委員会に専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、会長の命を受け、必要な事項を調査検討し、会長に報告する。

(監事)

第9条 事業の適正な執行を確保するため、監事2名を置く。

2 監事は、事業の執行状況及び会計の監査を行い、その結果を委員会に報告する。

3 事業報告書及び収支決算書については、監事による監査を経て、委員会に提出の上、その承認を受けるものとする。

(事務局)

第10条 事業の遂行に必要な事務処理を行うため、大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎35階に事務局を置く。

2 事務局には事務局長その他の職員を置く。

3 事務局長は、会長の命を受け、委員会の業務を総括的に処理する。

4 事務局長は、会長が任命する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な細則等事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年9月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年1月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年2月14日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年5月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年6月7日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年2月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年7月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年8月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年9月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年11月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年6月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年9月11日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年3月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年6月9日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年2月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年6月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年10月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年3月29日から施行する。

別表(第3条関係)

役 職	氏 名	所 属
顧問	松井 一郎	大阪府知事
顧問	吉村 洋文	大阪市長
顧問	今井 豊	大阪府議会議長
顧問	東 貴之	大阪市会議長
会長	松本 正義	一般財団法人大阪陸上競技協会会長
副会長	新井 純	大阪府副知事
副会長	鍵田 剛	大阪市副市長
副会長	竹内 章	一般財団法人大阪陸上競技協会専務理事
委員	杉山 美邦	読売新聞大阪本社代表取締役社長
委員	北尾 一	大阪市地域振興会会長
委員	辰野 邦次	大阪府商店街連合会会長・大阪府商店街振興組合連合会理事長
委員	角 正基	大阪市商店会総連盟理事長
委員	森 詳介	公益社団法人関西経済連合会会長
委員	尾崎 裕	大阪商工会議所会頭
委員	村尾 和俊	一般社団法人関西経済同友会代表幹事

役 職	氏 名	所 属
委員	福島 伸一	公益財団法人大阪観光局会長
委員	牧野 明次	公益財団法人大阪体育協会会長
委員	田中 誠太	大阪府体育連合会長
委員	斉喜 博美	大阪府スポーツ推進委員協議会会長
委員	新堂 友衛	大阪市体育協会会長
委員	濱田 麗史	大阪市体育厚生協会会長代行
委員	鶴田 雄二	大阪市スポーツ推進委員協議会会長
委員	橋爪 静夫	大阪府障がい者スポーツ協会会長
委員	山田 俊平	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会理事長
委員	伯井 俊明	一般社団法人大阪府医師会会長
委員	山田 邦博	国土交通省近畿地方整備局長
委員	天谷 直昭	国土交通省近畿運輸局長
委員	山澤 俱和	阪神高速道路株式会社代表取締役社長
委員	大江 桂子	大阪府府民文化部長
委員	岡本 圭司	大阪府府民文化部都市魅力創造局長
委員	植山 勝秀	大阪府教育委員会事務局教育振興室保健体育課長
委員	井上 雅之	大阪市経済戦略局長
委員	藤本 昌信	大阪市交通局長
委員	小林 大祐	大阪市経済戦略局スポーツ部長
委員	北田 耕之	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	上田 重隆	一般財団法人大阪陸上競技協会副専務理事
委員	藤野 隆雄	株式会社ケイ・オプティコム代表取締役社長
監事	児玉 達樹	大阪商工会議所常務理事・事務局長
監事	樋元 四郎	一般財団法人大阪陸上競技協会事務局長

第5回大阪マラソンの結果報告について

- 1 大会名 「第5回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2015～」
- 2 開催日 平成27年10月25日（日）
- 3 主催 大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会
- 4 共催 読売新聞社
- 5 主管 一般財団法人大阪陸上競技協会
- 6 運営協力 大阪身体障害者陸上競技協会
- 7 後援

30団体

 公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、株式会社毎日放送、読売テレビ放送株式会社
 <順不同>
 - ※メイトゥー 株式会社ケイ・オプティコム
 - ※ワイヤルズ 株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、久光製薬株式会社、コカ・コーラ、セイコーホールディングス株式会社、関西大学、読売新聞社、株式会社アドバンスクリエイト、第一生命保険株式会社、アサヒビール株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社フォトクリエイト、日本通運株式会社、大阪シティ信用金庫、トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社、岩谷産業株式会社 <順不同>
 - ※サポーター FM802、井村屋株式会社、株式会社神戸屋、株式会社 Mon cher、株式会社青木松風庵、紀州田辺うめ振興協議会、江崎グリコ株式会社、NHK 大阪放送局<順不同>

8 種 目 マラソン (1)登録 (2)一般 (3)車いす
併設レース：チャレンジラン [8.8km]

9 参加者等

	マラソン (42.195 km)	チャレンジラン (8.8 km)	合 計
定 員	30,000人	2,000人	32,000人
エントリー (H27.4.6~5.8)	130,975人	6,839人	137,814人
出走者数	30,459人 (車いす21人含む)	1,854人	32,313人
完走者数	29,700人 (車いす20人含む)	1,829人	31,529人
完走率	97.5%	98.7%	97.6%

《参考：出走者ベース》

(1) 国内都道府県別 (国内参加：29,088人)

① 大阪府 (12,264人[42.2%]) ② 兵庫県 (3,911人[13.5%])

③ 東京都 (2,125人[7.3%])

(2) 国外居住地別 (国外からの参加：3,225人)

①台湾 (1,164人) ② 香港 (1,076人) ③ 中国 (222人)

④シンガポール (159人) ⑤タイ (149人)

(3) 完走者最高年齢 (フルマラソン)

男性：82歳，女性：79歳 (参考：チャレンジランは男性91歳)

10 参加ボランティア 延べ9,820人

(内訳) コース管理：8,643人，マラソン EXPO：1,124人，
力持ちボランティア (自転車運搬補助業務)：53人

11 制限時間 7時間

12 コー ス スタート :大阪城公園前
フィニッシュ：インテックス大阪
主な通過点 :御堂筋・道頓堀・中之島・大阪市中央公会堂
京セラドーム大阪・なんば駅・通天閣周辺
南港周辺など

※公益財団法人日本陸上競技連盟及び

AMS (国際マラソン・ロードレース協会) 公認コース

13 総事業費 約13.4億円

14 その他

- ①給水《給水所：15カ所》
(スポーツドリンク：2ℓ：21,756本、500mℓ：37,008本)
(水：2ℓ：41,988本)
- ②給食《給食所：4カ所》
(バナナ：3万本、一口パン：4万500個、塩飴：2万個、
スナック菓子・乾燥梅肉・クッキー・みるく饅頭各1万個等)
※32.5 km地点では大阪市商店会総連盟が大阪マラソン公式給食工
場を運営(おやついなり、キュウリ、コロッケなどを提供)
- ③仮設トイレ等 703基
- ④大阪マラソン沿道応援イベント『ランナー盛上げ隊!』
(コース沿道15カ所、出演団体：69団体、
応援団・チャリティ・ダンス・よさこい踊り・吹奏楽など)
- ⑤沿道人数 1,320,000人
- ⑥苦情件数 5件
- ⑦問い合わせ件数 154件
- ⑧医事・救護
救護所利用件数：1,563件
(うちAED使用件数：1件、救急搬送件数：13件)
※救護スタッフ861人
内訳：医師131人・看護師155人(メディカルランナー含む)、
移動AED隊36人、トレーナー95人 など
- ⑨テレビ中継
- 10/25
- ・毎日放送(MBS) 10:00~11:24 視聴率7.2%
 - ・読売テレビ(YTV) 14:35~15:00 視聴率5.9%
 - 16:25~17:25 視聴率4.8%
 - ・eo光チャット/K-CATチャット スクリミング 生配信
(ケイ・オプティコム大阪マラソン応援サイト) 8:40~16:10
 - ・BS-TBS(毎日放送の録画放送) 11/1 14:00~15:24
 - ・NHK BS1「ラッ×ス」 11/14 18:00~18:30(前編)
11/21 18:00~18:30(後編)

【大阪マラソン EXPO2015】

- 1 日 程 平成27年10月23日(金)~25日(日)
- 2 時 間 11:00~20:00
(ただし25日は10:00~17:00・16:30最終入場)
- 3 場 所 インテックス大阪1・2・3号館
- 4 出展社数 104社(企業ブース62社、うまいもん市場42社)
- 5 入場者数 124,000人

【チャリティ募金】

区 分	金 額
ランナー参加料入金時の募金（個人@500円×2口以上）	53,954,000円
チャリティ親子ラン参加料入金時の募金	160,000円
なないろチャリティTシャツ販売による寄付金	26,140,000円
なないろチャリティキャップ販売による寄付金	6,612,000円
ニックネーム入りナンバーカード販売による寄付金	588,000円
大阪マラソン特設サイト募金 （チャリティランナー（達成者467人）による寄付金額含む）	37,367,145円
公式イベントでの募金 （6/14 おおさかサマーファンラン、8/26 チャリティホップザム）	26,092円
府内商店街等との連携イベント等での募金	12,685円
スポンサーにおける募金	289,667円
大阪マラソン EXPO2015 のチャリティランナー等での募金 （10/23～25）	1,148,413円
チャリティオークション（10/24 大阪マラソン EXPO2015）	195,500円
コース沿道での募金（10/25）	378,759円
大阪マラソンチャリティ寄付先団体の募金活動による寄付金	801,594円
その他の募金活動による寄付金	9,821円
合 計	127,683,676円

【RUN as ONE-Tokyo Marathon 「2016大会 準エリート」への推薦】

東京マラソン財団は、平成28年2月28日（日）開催「東京マラソン2016」に日本陸上競技連盟登録ランナー2,500人が出場できる「準エリート」を設けており、第5回大阪マラソンの成績上位者（20人：男女各10人）を、「東京マラソン2016」の出場者として推薦した。

《第5回大阪マラソン 競技結果》

1. 車いすの部 (男子)

	氏名	所属	記録
1位	にしだ ひろき 西田 宗城	バカラパシフィック	1時間27分04秒 ※大会新
2位	いとう たかひろ 伊藤 尚弘	神奈川	1時間39分58秒
3位	よしだ たかし 吉田 高志	大阪	1時間43分42秒

2. マラソン男子の部

	氏名	所属	記録
1位	ダニエル・コスゲイ	ケニア	2時間13分46秒
2位	いとう たいが 伊藤 太賀	静岡 スズキ浜松アスリートクラブ	2時間15分32秒
3位	セルオド・バトオチル	モンゴル	2時間15分35秒

3. マラソン女子の部

	氏名	所属	記録
1位	マリナ・ダマツエビッチ	ベラルーシ	2時間32分28秒 ※大会新
2位	よしまつ ひさえ 吉松 久恵	山口 周南市役所	2時間37分48秒
3位	きのした ゆみこ 木下 裕美子	東京 SWAC	2時間38分17秒

【シカゴマラソン賞】

	氏名	記録	備考
男性1位	なかしま ひろき 中島 弘貴	2時間28分57秒	府在住者、第39回シカゴマラソン(2016.10.9)招待
女性1位	いの みつこ 井野 光子	2時間49分48秒	

【市民ランナー賞】

	氏名	記録	備考
男性1位	さいとう たくや 齋藤 拓也	2時間23分17秒	招待選手、提携マラソン 代表選手は除く
女性1位	いの みつこ 井野 光子	2時間49分48秒	

第5回大阪マラソン 参加ランナー・観客へのアンケート調査結果(概要)

大阪マラソン組織委員会

出典: 第5回大阪マラソン共同調査研究(関西大学・読売新聞社)

本概要は、第5回大阪マラソンに参加したランナー、観客を対象に、大会参加の意識、大会運営に対する評価、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすると同時に、大阪マラソンの課題を解決し、今後の大会運営に活かすことを目的とする「第5回大阪マラソン共同調査研究」結果を元に作成したものです。

なお、同研究は、大阪マラソン組織委員会が、読売新聞大阪本社と関西大学に共同調査研究を依頼したものです。

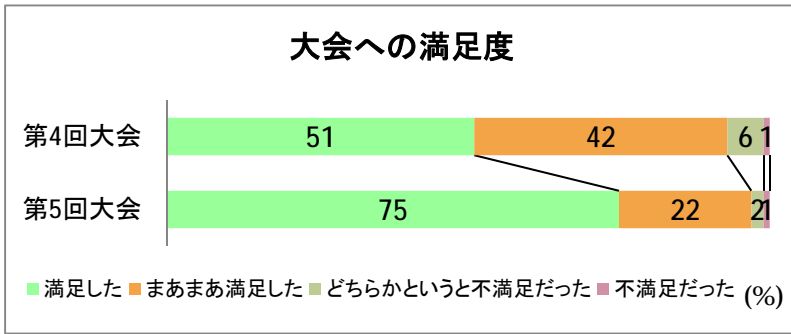
(参考)

第5回大阪マラソン 関西大学・読売新聞社共同調査研究 集計数

	ランナー調査			当日観客調査
	一般	海外ランナー	チャリティランナー	
調査期間	10/26-11/8			10/25
発送数	16,740	2,023	243	
調査方式	web			街頭聞き取り調査
集計数	7,874			319
	7,093		104	
内訳	英語	391		中之島 53
	中国語	286		なんば 94
				インテックス 172
				大阪
回収率	42%	33%	43%	

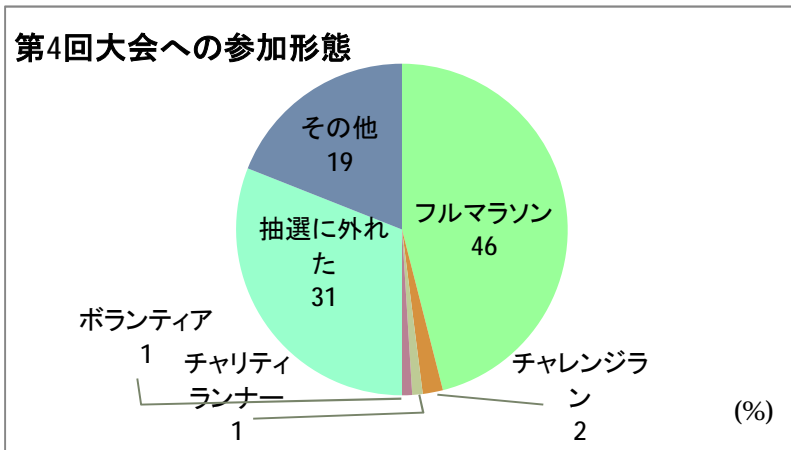
一般のランナー※

※チャリティランナー・海外ランナー以外

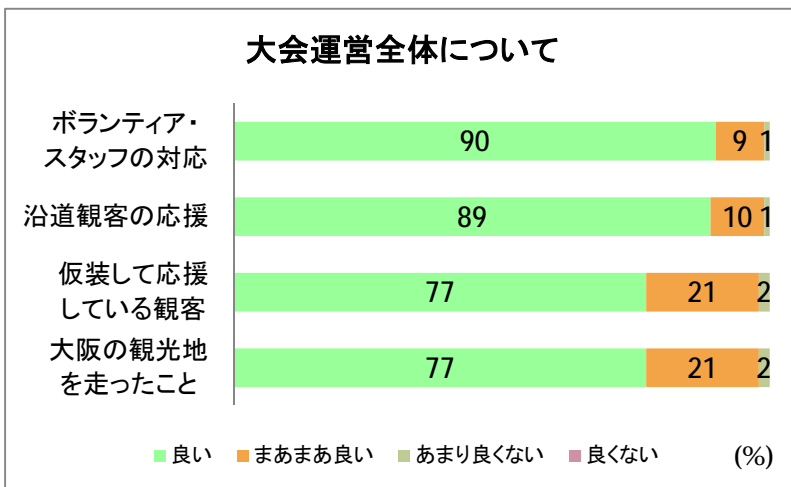


「満足」と「まあまあ満足」を合わせた大阪マラソンの満足度は**97% (93%)**と第4回大会と同程度だが、「満足した」人の割合が**75% (51%)**と前回大会よりも大幅にアップした。

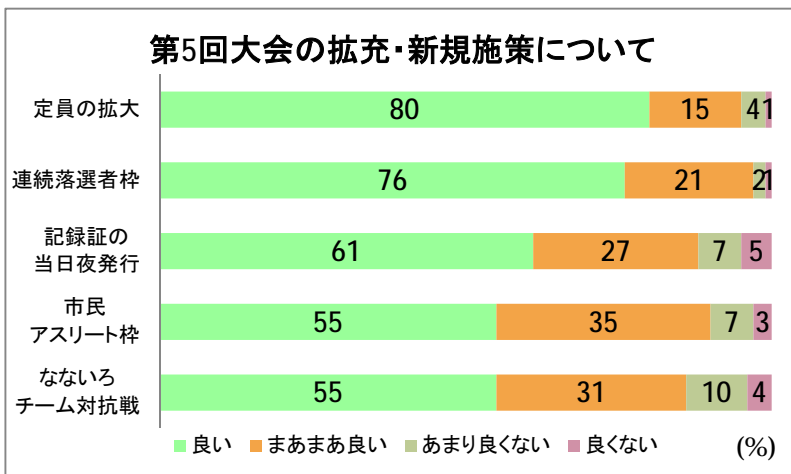
※ () は、第4回大会アンケート結果



第4回大会への参加形態としては、一般のフルマラソンランナーとしての参加が**46%**と最も多く、チャレンジラン**2%**、チャリティランナー**1%**と合わせると約半数となり、リピーターが多いといえる。

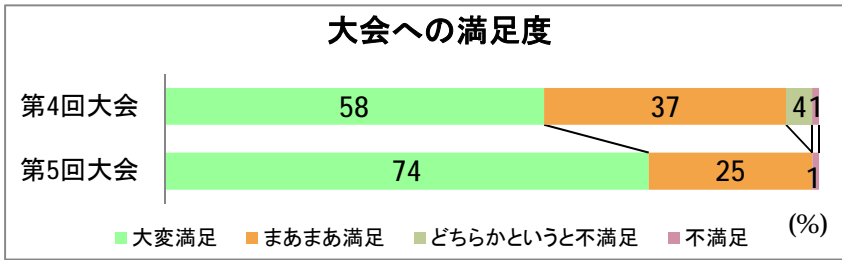


大会運営について、「良い」と思った人の割合が最も高かった項目は、「ボランティア・スタッフの対応」の**90%** (**85%**)、「沿道の観客の応援」**89%**などで、運営や応援を支える人々への好感度は非常に高かった。

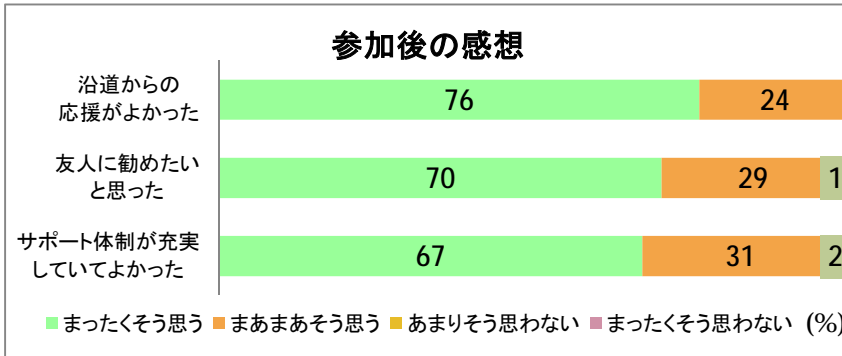


新たな取組みについて「良いと思った」人は、「定員の増設」**80%**、「連続落選者枠の新設」**75%**、「当日夜の記録証発行」**60%**、「市民アスリート枠の新設」**55%**。「なないろチーム対抗戦」**55%**であった。「まあまあ良い」と合わせると、それぞれ**95~86%**の満足度であった。

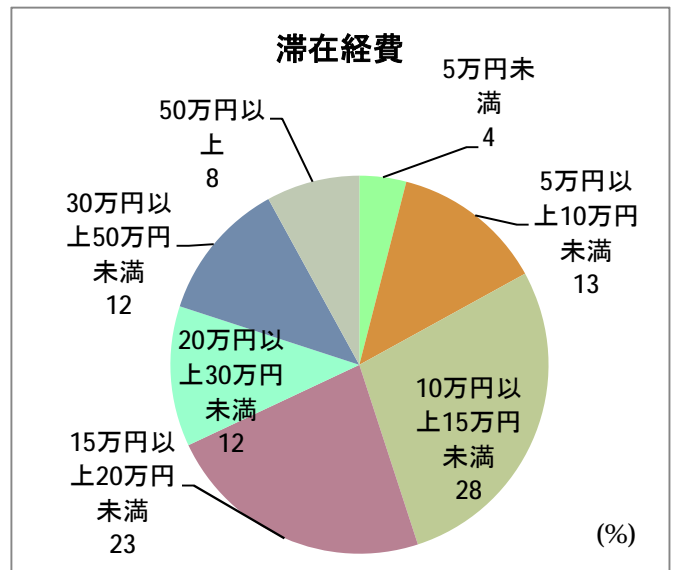
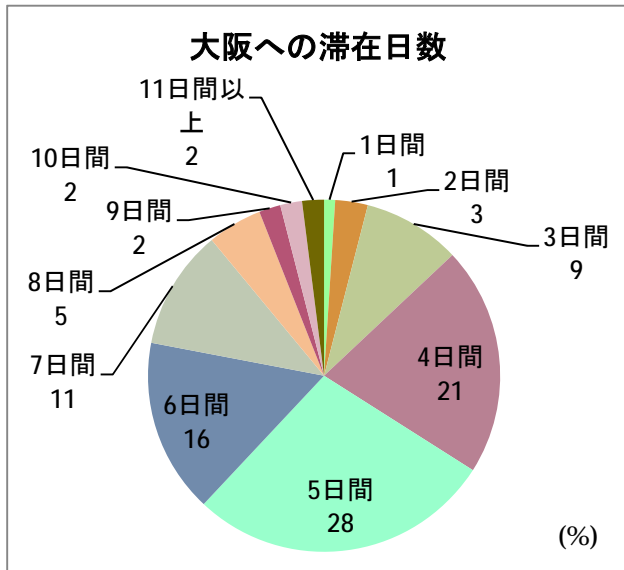
海外ランナー



大阪マラソンの満足度は**99%** (95%)と第4回大会と同程度だが、「満足した」人の割合が**74%** (58%)と前回大会よりも大幅にアップした。



参加後の感想として、「沿道からの応援がよかった」**75%**(68%)、「友人に勧めたいと思った」**70%**(54%)の項目で「まったくそう思う」とした人が**70%**を越え、「ボランティア等のサポート体制が充実していた」も**67%**(61%)に達した。いずれも参加前の期待値よりも評価があがっており、海外ランナーにも大阪のホスピタリティは好評だった。

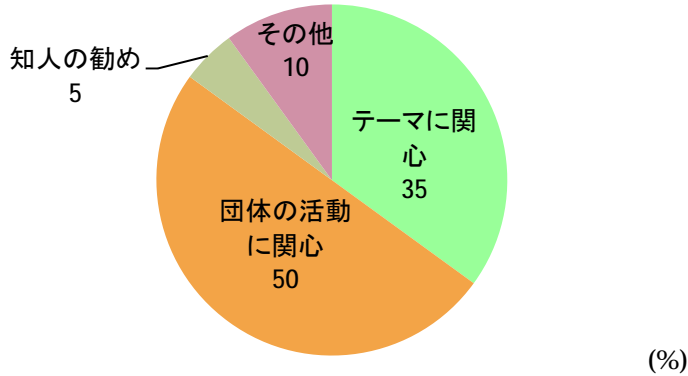


大会当日を含めた大阪での滞在日数は、回答者の半数以上となる**65%**が「4日間」から「6日間」と国内参加者に比して長期であり、渡航費や大阪マラソン参加料等を除く滞在経費は、「**10万円以上15万円未満**」**28%**と最も多かったが、「**50万円以上**」とした人も**9%**いた。

調査結果からは大規模スポーツイベントがインバウンド（訪日外国人）増加に果たす役割の大きさがうかがえた。

チャリティランナー

寄付先団体を決めた一番の理由



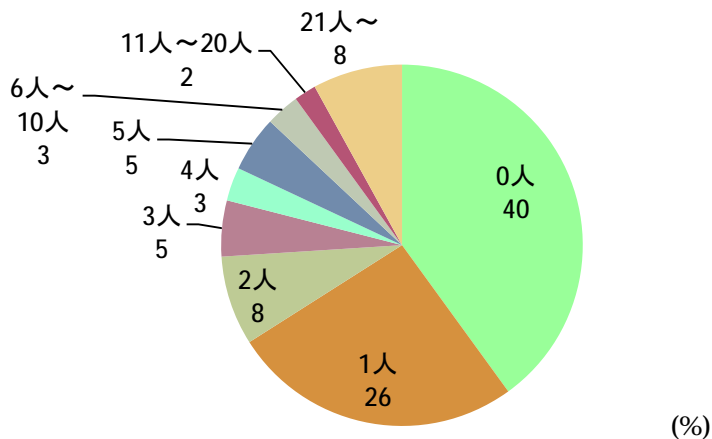
寄付先団体を決めた理由で挙げたのは、「活動に関心があったから」が **50%**、「チャリティテーマに関心があったから」が **35%**、「知人からの勧め」も **5%** あった。

募金活動の方法 (複数回答)



募金活動の方法 (複数回答) では、「SNSを活用」が **31%(32%)**、「友人・知人にお願いした」**27%(42%)**、「家族・親戚にお願いした」**22%(36%)** も多かった。「街頭募金をした」「募金のためのイベントを開いた」もあったが、「何もしなかった」人も **40%(36%)** あった。

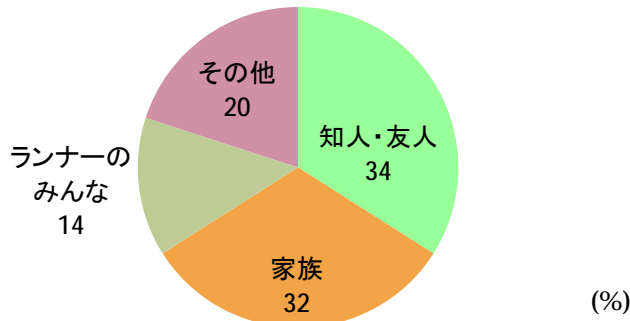
寄付を集めた人数



寄付を集めた人数は、「0人」**40%**が最も多く、「1人」**26%**で合わせると **67%(45%)**で、複数のサポーターから寄付がなかった傾向が前回大会よりも増加した。

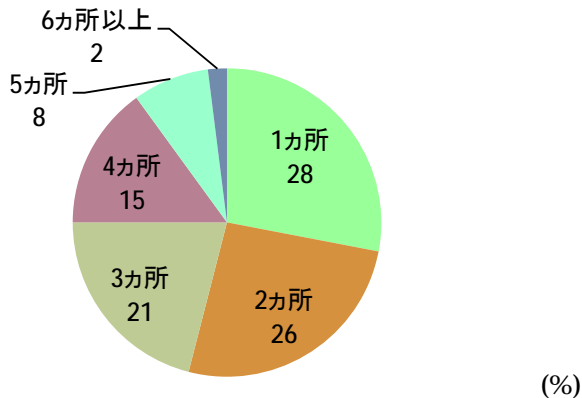
観 客

だれを応援しに来たか



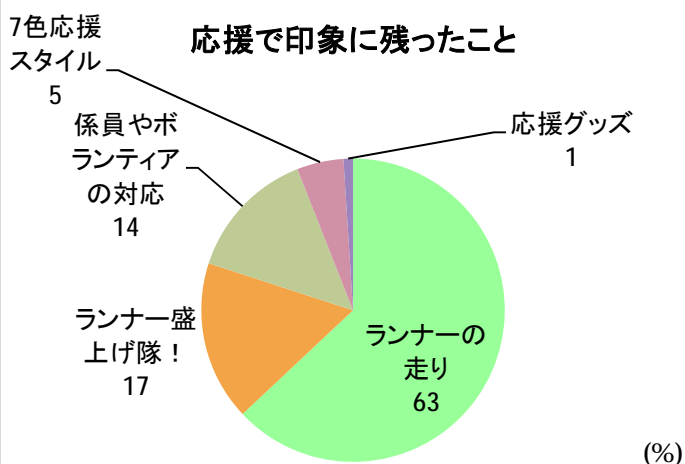
応援をした相手で最も多かったのは「知人・友人」の**34%(28%)**で、次いで「家族」が**32%(29%)**、一方、「ランナーのみんな」「その他」を合わせると全体の**1/3**を占め、特定の相手にこだわらず応援する人も多かった。

何カ所で応援するか、したか



市民マラソンの特徴である応援場所の移動では、**1カ所**で応援すると答えた人が**28%(33%)**、**2カ所**と答えた人が**26%(28%)**、**3カ所**が**21%(23%)**と、複数個所で応援すると答えた人が約**7割**いた。中でも**4カ所**以上で応援する人が**25%**と前回大会の**15%**よりも大幅に増加した。

応援で印象に残ったこと



大阪マラソンの応援で印象に残ったことについては、「ランナーの走り（仮装を含む）」と答えた人が**63%**と半数を超えている。また、**17%**の人が「ランナー盛上げ隊!」**14%**の人が「係員やボランティアの対応」と答えており、**3割**近くが大会関係者に対して良い印象を持っており、ランナー以外も大阪マラソンの応援に来る誘因になっている。

大会へ寄せられた感想

【一般のランナー】

- ・大阪マラソンの運営、本当にありがとうございます。名古屋市から参加させていただき、疲れましたが完走でき、本当に楽しかった。一貫したチャリティ精神にも大いに感心しました。帰りの混雑はへとへと
の体には少しきつかった。(50代)
- ・チャリティマラソンであることと、楽しさを大事にするマラソンであることは、大阪マラソンならではの
特徴であり良さであると思うので、これからも続けていってほしい。(50代)
- ・「なないろチーム対抗戦」について、良い企画だと思いましたが、ランナー同士の一体感が全然
感じられなかった。ランナーの通過を集計するシステムを使い、10キロ位とゴール地点で速報があ
ればチームカラーの同じランナー同士の絆ができ励まし合いながらゴールを目指すランニング
が出来る。(40代)
- ・「連続落選者枠が新設された」ことは人気マラソン大会では画期的な試みで大変良い。(60代)
- ・沿道のみなさまの応援はとてもうれしいが、もっとランナーと一体感がもてる仕掛けがあるような気がす
る。やりかた次第では大阪マラソンの名物にできる。沿道の応援も一部エントリー制・コンテス
ト制にして、エリアや企業が特色・テーマのある応援をし、それをランナーが投票で評価する(勇
気づけられたで賞・おもしろかったで賞等)(40代)
- ・沿道のおもしろい声援が多かったのは大阪らしさがあつてすごく良かった。コース内で大阪の名所に
近づいてきた時点で「もうすぐ〇〇やでえ〜」とか「あと〇キロで〇〇が見えるで！」など大阪
弁を使ったポップがあつても面白かったかも。(30代)

【海外からのランナー】

- ・給水ステーションでのスタッフたちは、とても可愛く、感じもよい。道路状態もとても良く、全くでこぼ
こした所や工事中の状態がない。(台湾 30代)
- ・観衆からの声援が驚くべきものであると知っていましたが、本当だった。そして、この声援が私を後押
ししてくれて、良い結果がでた。(オランダ 40代)
- ・今までのマラソンの中でも最高だった。あんなに高水準のマラソンができる運営団体に敬意を表し
ます。日本の文化がこのイベントに融合されていると感じた。すばらしい経験をありがとう！(シ
ンガポール 40代)
- ・KM表示のサイズをもっと大きく、広い道路でもランナーにわかるようにしてほしい。またどの駅が
手荷物預かり所の最寄り駅になるのか教えてほしかった。(シンガポール 40代)
- ・日本で完走するのは大変なことだ。ここまで打ち切り時間に対して厳しい国は他にない。しかし、こ
れが日本の走りの美学なのだと思います。より早く、強くなければいけないのですね。(タイ 30
代)
- ・Eメールで外国人ランナーにオフィシャルの信頼のおけるホテル情報や、現地での携帯電話の使
い方の情報など送ってもらえれば助かる。(中国 30代)
- ・チャリティ募金の活動はなかなかいいので続けてほしい。大阪市民の熱い応援に感謝し、スタッフや
ボランティアたちの暖かいサポートにも感謝。もしチャンスがあったら、私もボランティアに参加し、
自分の力を出したい。(台湾 30代)

【チャリティランナー】

- ・ マラソン当日 寄付先団体の方の対応にとっても感謝。遅いゴールにもかかわらず寒空の中応援いただきありがとう。(50代)
- ・ 2014年の大阪マラソンは抽選が外れてチャリティ参加を決めたが、大阪マラソンや寄付先団体の皆さんの活動や我々への配慮、サービスを体験してサポートしたいと思い、今年は抽選には申し込まずチャリティで即申し込んだ。(50代)
- ・ 私の周りは、年配の方が多いため、インターネットでの寄付が面倒くさいらしく、なかなかネット上では寄付を集めにくかった。現金でそのまま寄付をいただいた。ウェブ上のサイトに登録しなくても簡単に寄付できるようなシステムだと嬉しい。(30代)
- ・ チャリティ参加申し込みが複雑で寄付の方法も分かりづらかった。(数件の寄付を集めましたが、納金方法が分かりづらくて、結局、クレジット決済にした) (60代)
- ・ ランナー受付時に寄付先団体の方に応援メッセージをいただき感激したが、もっと事前にチャリティ先との交流が活発であればもっとあれば使命感が増し、更にタイムがあがったかもしれない。(50代)
- ・ この制度がなければ「チャリティ」に無縁だったろうと思う。ある意味、広い意味で「チャリティ」に今後に参加する契機になった。(60代)
- ・ 「金で参加権を買っている」と揶揄する声があり、他都市のマラソンのように運営費に寄付するものと誤解している人がいた。そのような人に趣旨を説明するのが役目と思うがストレスだった。チャリティランナー制度の認知度・理解度を上げ、枠を拡大し、もう少し当たり前になると良い。(30代)

第6回大阪マラソン 大会要項 (概要)

資料3

- 大会名称 第6回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2016～
(英文名) Osaka Marathon 2016
- 主催 大阪府、大阪市、一般財団法人大阪陸上競技協会
- 共催 読売新聞社
- 主管 一般財団法人大阪陸上競技協会
- 運営協力 大阪身体障害者陸上競技協会
- 後援 公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、株式会社毎日放送、読売テレビ放送株式会社 <順不同>
- メインスポンサー 株式会社ケイ・オプティコム
- オフィシャルスポンサー ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、久光製薬株式会社、コカ・コーラ、セイコーホールディングス株式会社、株式会社アドバンスクリエイト、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社フォトクリエイト、日本通運株式会社、トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社、岩谷産業株式会社、コスモ警備保障株式会社 他
- 種 目 (1)マラソン ①日本陸上競技連盟登録競技者
②日本陸上競技連盟に登録していないランナー ③車いす
(2)チャレンジラン(8.8km)
- 開催日時 2016年(平成28年)10月30日(日)
8:55 車いすスタート
9:00 マラソン・チャレンジランスタート
10:50 チャレンジラン終了
11:15 車いすマラソン終了
16:00 マラソン終了
- コース(マラソン) 大阪城公園前をスタートし、インテックス大阪前をフィニッシュとする大阪マラソンコース
<日本陸上競技連盟公認コース/AIMS公認コース>
- コース(チャレンジラン) 大阪城公園前～大阪市役所前 (公認条件に適合せず記録は公認されない)
- 競技規則 2016年度日本陸上競技連盟競技規則、日本パラ陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
- 制限時間 マラソン:7時間 車いす:2時間20分、チャレンジラン:1時間50分
- 定 員 マラソン:30,000人、チャレンジラン:2,000人
- 参加資格 (1)マラソン 1998年(平成10年)4月1日以前に生まれた者
※日本陸上競技連盟登録競技者については、2016年度の登録者とする。
※視覚障がいのある方で単独走行が困難な方は伴走者1人をつけることができる。
(盲導犬の伴走は不可)
- ①市民アスリート (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー ※国内居住者で日本語サイトからのエントリー者に限る。
(1)、(2)ともに年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録(日本陸上競技連盟公認またはAIMS公認コースで2014年(平成26年)4月1日以降のグロスタイム)を有する者 計1,000人

- ②個人 (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー、
(3)車いす レース仕様車とする(日本パラ陸上競技連盟競技規則による)
※2014年(平成26年)4月1日以降の国内または国外の車いすレースにおいて
ハーフ:1時間10分以内 フルマラソン:2時間20分以内の記録を有する者。計30人
- ③ペア(2人)、④グループ(3～7人)、
- ⑤チャリティランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、
(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー
※(1)、(2)ともに大阪マラソンチャリティ制度に賛同し目標金額70,000円以上の寄付を集めた者。
※②～⑤はいずれも、6時間30分以内に完走できる者。
- (2)チャレンジラン 2001年(平成13年)4月1日以前に生まれた者
※1時間20分以内に完走できる者。 ※車いすでの参加は不可。
※視覚障がいのある方で単独走行が困難な方は伴走者1人をつけることができる。
(盲導犬の伴走は不可) ※チャレンジランは、後方のブロックよりスタートする。

- 参加料(市民アスリート) マラソン:国内 10,800円(国内のみ)
- 参加申込(市民アスリート) ※期間 2016年(平成28年)4月5日(火)12時から 4月11日(月)17時まで。
※方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(1,000人)
※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、及び、事務手数料を必要とする。
- 参加料(個人) マラソン:国内 10,800円 国外 13,000円 チャレンジラン:国内 5,400円 国外 6,500円
- 参加申込(個人) 連続落選者枠:
第3回～第5回大阪マラソンに個人エントリーされ(エントリー時にマイページを保有されている方のみ)3回連続で落選した方を、第6回大会エントリー抽選時に優先的に抽選し、3,000人が当選。この抽選で外れた方は、一般エントリーに戻し抽選(再エントリー不要)。
- 参加料(ペア) マラソン:1ペア(2人) 30,000円
- 参加料(グループ) マラソン:1グループ(3～7人まで)105,000円
- 参加申込(個人・ペア・グループ共通)
(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)
(2)期間 2016年(平成28年)4月8日(金)10時から 5月10日(火)17時まで。
(3)チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、及び、事務手数料を必要とする。
- 参加申込(チャリティランナー)
(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)
(2)期間 2016年(平成28年)4月8日(金)10時から 7月29日(金)17時まで。
- 参加者受付 2016年(平成28年)10月28日(金)・29日(土)
大阪マラソンEXPO2016会場(インテックス大阪)にて行う。
- その他 (1)チャリティプログラムの趣旨に賛同できない方の申し込みはご遠慮いただいている。
(2)主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。
(3)大会参加に関しては十分にトレーニングし、事前に健康診断を受診する等、体調には万全の配慮をしようとして参加すること。
(4)競技中の事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
(5)本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

マラソンコースについて

スタート：大阪城公園前

フィニッシュ：インテックス大阪

※日本陸上競技連盟公認コース／AIMS 公認コース



※マラソンコースについては、第1回大会から変更なし。

ランナー募集について

1. 種 目 マラソン (1) 日本陸上競技連盟登録競技者
 (2) 日本陸上競技連盟に登録していないランナー
 (3) 車いす
 チャレンジラン 8.8 km

2. 参加定員 32,000 人

(内訳) マラソン 30,000 人
 ・個人(車いす含む)、ペア、グループ 26,000 人
 ・市民アスリート 1,000 人 (個人のみ (車いす除く))
 ・連続落選者 3,000 人 (個人のみ (車いす除く))
 チャレンジラン 2,000 人
 ※チャリティランナー400 人を含む

(参考) 第 4 回大会まで 30,000 人 (マラソ 28,000 人、チャレンジ 2,000 人)
 第 5 回大会から 32,000 人 (マラソ 30,000 人、チャレンジ 2,000 人)

3. 申込方法

インターネット (PC・スマートフォンのみ)
 (市民アスリート、個人 (車いす含む)、ペア、グループ)

4. 申込期間

申込期間：4 月 8 日 (金) 10 時から 5 月 10 日 (火) 17 時まで
 ※市民アスリート：4 月 5 日 (火) 12 時から 4 月 11 日 (月) 17 時まで【先着順】
 ※チャリティランナー：4 月 8 日 (金) 10 時から 7 月 29 日 (金) 17 時まで【先着順】

5. 申込区分・参加料等 ※チャリティ募金は「1 口 500 円×2 口以上」

種 目	申込区分	① 参加料	②チャリティ募金 (2 口の場合)	合計金額 (①+②)
マラソン	個人 (市民アスリート、 車いすを含む)	10,800円	1,000円	11,800円
	ペア	30,000円 (15,000円×2人)	2,000円 (1,000円×2人)	32,000円
	グループ (3~7人)	105,000円	7,000円	112,000円
チャレンジラン	個人	5,400円	1,000円	6,400円

(注1) ペアエントリー及びグループエントリーについては大阪マラソン記念グッズ (人数分) を用意

(注2) 当選時、別途事務手数料が必要

(1) 市民アスリート枠（定員 1,000 人）

大阪マラソンが独自に算出した年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録（日本陸上競技連盟公認またはA I M S公認コースで 2014年（平成 26年）4月 1日以降のグロスタイム）を有する者。

【基準タイム】

年代	男性	女性
18～39歳	03:00:00	03:40:00
40～49歳	03:15:00	03:45:00
50～59歳	03:25:00	04:00:00
60～69歳	03:50:00	04:30:00
70歳～	04:30:00	05:10:00

(2) 連続落選者枠（定員 3,000 人、前回 1,000 人から拡大）

第3回・第4回・第5回大阪マラソンにインターネットで個人エントリーし、3大会連続で落選した方を、第6回大会のエントリー抽選時に優先的に抽選し、3,000人が当選。

この抽選で外れた方は、一般エントリーに戻し抽選する（再エントリー不要）。
種目はマラソン（個人）のみ。

6. なないろチーム対抗戦

7つのチャリティカラーのうち、同じカラーのランナー全員を1つのチームとみなし、チーム毎の完走者の平均タイムを競う。

一番速かったチームを優勝とし、その結果を閉会セレモニー等で発表するとともに、今回新たに、優勝チーム全員にスペシャル特典を進呈。

さらに優勝チーム（完走者）の中から、抽選で 100 人に、第 7 回大会の出場権を進呈。

※車いす、チャレンジランは対象外

※前回は、500 人に第 6 回大会の出場権を進呈。

7. その他

(1) マラソン（市民アスリート、第5回大会のなないろチーム対抗戦で優勝した緑組で抽選による出場権を有する方、チャリティランナーを除く）及びチャレンジランは、定員を超えた場合は抽選を行う。

(2) 抽選結果は6月上旬に通知予定

(3) その他詳細は、3月29日以降に大会公式HPや募集要項で周知予定

チャリティ事業について

第6回大会では、第5回大会のチャリティスキームを継続し、「チャリティアンバサダー」や「チャリティランナー」による寄付参加を呼びかける。出場ランナーに限定販売するチャリティTシャツ等のチャリティグッズでは、今大会から新たに「チャリティウィンドブレーカー」を販売するなどの取組みを行います。

(1) チャリティ寄付先団体の決定

第6回大会に向け公募し、応募のあった48団体について、①応募動機と活動状況、②チャリティプログラムへの意欲とコラボレーション企画の提案力、③告知や広報活動、④募金活動の取り組みの4つの審査項目に基づき選考した結果、7つのチャリティテーマに各2団体、合計14団体を決定。(9団体が第5回大会から第6回大会へ継続し、5団体(うち1団体は、第1回から第3回大会の再任)が新規となる。(別添「第6回大阪マラソン 寄付先団体一覧」参照)。

(2) チャリティスキーム (一部変更)

ランナーエントリー時に、一人2口以上(1口=500円)の口数で、支援したいチャリティテーマを選択するチャリティ募金など、基本的なスキームは第5回大会の方針を継続する。より幅広いチャリティテーマへの寄付をお願いするため、第6回大会では、最低口数の2口は、異なるテーマをそれぞれ1つずつ選択していただく。

(3) チャリティアンバサダーの起用 (継続)

大阪にゆかりのある著名人などを起用した「チャリティアンバサダー(=大使)」が、チャリティプログラムの意義などについて広くPRすると共に、ジャパングビング等を活用した寄付の呼びかけや大会の盛上げを行う。

(4) チャリティランナーの募集 (継続)

チャリティ活動への理解を深め、支援の輪を広げていくことを目的に、チャリティに対する関心が特に高い方に、チャリティランナーとして参加していただけるよう、ランナー募集開始と同時にチャリティランナーを募集する。

- ◆種 目：マラソン個人(日本陸連登録競技者・日本陸連に登録していないランナー)のみ
- ◆募 集 期 間：平成28年4月8日(金)10時~7月29日(金)17時
- ◆募 集 予 定 人 数：400人(先着順)※募集予定人数に達した場合は、締め切ることがあります
- ◆寄 付 目 標 金 額：7万円以上(寄付先団体の中から1団体選択し、寄付目標金額は自己申告)
- ◆申 込 方 法：インターネット(PC・スマートフォンに限る)
- ◆チャレンジ期間：平成28年4月8日(金)~9月30日(金)

(5) なないろチャリティTシャツ等の制作・販売（継続）

第5回大会に引き続き、第6回大会においても、FM802のアートプロジェクト「digeout」がプロデュースするオリジナルデザインのTシャツ（7種類）を制作し、参加ランナーを対象に限定販売する。メディアと共同した話題提供により、チャリティプログラムのさらなる浸透をめざす。

今大会からチャリティウィンドブレーカーが新アイテムとして登場。なお、なないろチャリティキャップや、名前やニックネームを入れたナンバーカードは、継続販売。

チャリティグッズ	販売金額（税込）／枚	寄付金額
なないろチャリティTシャツ	4,000円	製作費を除く2,000円
チャリティウィンドブレーカー（新）	7,500円	製作費を除く3,500円
なないろチャリティキャップ	2,000円	製作費を除く売上の一部を寄付
ニックネーム入りナンバーカード	500円	

※今大会から、Tシャツ、ウィンドブレーカー、キャップを複数カラーの中から、複数購入することが可能。（ウィンドブレーカーは1種類のみ）

(6) チャリティ募金について

- ・ジャパングィングサイト内の大阪マラソン特設サイトの工夫
チャリティの活動内容がよりわかりやすく伝えられるようジャパングィングと調整していく。
- ・なないろハイタッチ手袋の進呈
第5回大会に引き続き、第6回大会においても、沿道応援において、ランナーに手を振ったり、ハイタッチしながら応援するためのグッズとして、EXPO 会場や大会当日の沿道募金で一定金額以上の寄付をいただいた方に進呈する。

■なないろチャリティTシャツ



紫色



紺色



水色



緑色



黄色

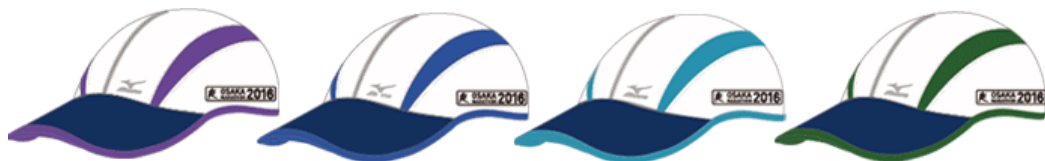


オレンジ色



赤色

■なないろチャリティキャップ



■チャリティウィンドブレーカー



2016年
新登場!

■ニックネーム入りナンバーカード



※デザインが一部変更になる場合があるのでご了承ください。

第6回大阪マラソン 寄付先団体一覧

番号	チャリティテーマ(色)	主な活動内容	団体名	寄付金使用用途	新規団体
1	美しいまちと暮らしを支える (紫)	若者による街の美化活動や 素敵なまちづくりの支援活動	特定非営利活動法人 greenbird	大阪・関西をはじめ、国内外に拠点を置いている各チームの清掃活動や、新チームの設立など、美しいまちづくりの支援のために活用	
2		ごみひろいを通じた ワークサポートで若者を支える	特定非営利活動法人 スマイルスタイル	社会人の基礎力養成に役立つごみひろい活動の継続費用や、若者の就労支援に関する調査・報告書の作成に活用	
3	子どもの未来を支える (紺)	病児保育で大阪の ひとり親家庭をサポート	仮認定特定非営利活動法人 ノーベル	子どもの急病時に病児保育を提供し、大阪のひとり親家庭の就労と経済的自立を支援して、貧困の連鎖を断ち切ることに活用	
4		ミャンマーの学校に本と おもちゃを届ける教育支援	認定特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン	電気が通わず、新聞も貴重なミャンマー農村部を中心とした小学校に、本とおもちゃが詰まった図書棚を届ける教育事業に活用	○
5	きれいな水を支える (水)	途上国の人々に安全な水と 衛生を届ける	特定非営利活動法人 ウォーターエイドジャパン	衛生設備が整っておらず、不衛生な水しかない途上国に、安全な水と適切なトイレを届ける活動に活用	
6		日本の水辺環境を復元し、 いきものを守る	認定特定非営利活動法人 自然環境復元協会	琵琶湖などの水源地、ピオトープやホタルが生息する水路の保全活動、「水」に親しむ自然体験活動に活用	○
7	自然を支える (緑)	東日本大震災で失われた 海岸林を再生	公益財団法人 オイスカ	津波で失われた宮城県名取市の海岸林 100ha の再生のためクロマツ 50 万本の育苗や、被災地住民の生計支援・雇用に活用	
8		すべての子どもが心から 自然とふれあえる社会をつくる	公益社団法人 日本環境教育フォーラム	最新の環境教育事情を学び、推進する「清里ミーティング」を通じて、今後の環境教育の世界を背負って立つ人材の育成に活用	○
9	家族を支える (黄)	難病の子どもとその家族全員を 応援・サポート	公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を	難病の子どもとその家族が参加する家族全員旅行や地域の方との交流会、それらを実現するための啓発活動などに活用	
10		世界中の赤ちゃんとお母さんの命を支える	公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	途上国で安全な出産環境の整備、保健ボランティアの育成など「赤ちゃんとお母さんの命を支える」保健・栄養事業に活用	再
11	夢を支える (オレンジ)	若年無業の状態にある 若者たちへの就労支援	認定特定非営利活動法人 育て上げネット	経済的に厳しい状況にある若者に支援を提供する「若者就労・応援パッケージ」などに活用	
12		市民プールで障がいのある すべての子どもに水泳指導	特定非営利活動法人 プール・ボランティア	体が不自由な子ども向けのプール用車いすやプールサイドに敷く安全マットの整備と、それらの普及に活用	○
13	生きる希望を支える (赤)	iPS 細胞による 再生医療・創薬の研究	京都大学 iPS 細胞研究所	優秀な研究者、研究支援者の安定雇用、iPS 細胞関連の特許確保と維持、医療応用にに向けた研究費としての支出、安定的な研究の推進に活用	
14		がん患者とその家族を サポート	特定非営利活動法人 がんサポートコミュニティー	がん予防啓発のリーフレットとバッジの制作・配布や、関西のがん患者とその家族への心理社会的サポートなどに活用	

※再：以前に選定されたことのある団体

ボランティアについて

■活動内容

活動日等	活動内容
大阪マラソン EXPO2016(前日準備) 10月27日(木)	ランナー配布物の袋詰め(受付準備)
大阪マラソン EXPO 2016 10月28日(金)・29日(土)	ランナー受付、会場案内、総合案内
第6回大阪マラソン 10月30日(日)	コース沿道整理、給水・給食、手荷物預かり・返却、 完走メダル配布、観客の案内誘導、ランナー救護受付、 自転車の運搬補助(力持ちボランティア) など

■募集内容

区 分	団体ボランティア	個人ボランティア
定 員 ※変更となる場合あり。	10,000 人	
申込単位	1 団体につき 10 人以上	1～5 人
要項発表	4月15日(金)予定	
申込受付開始	5月10日(火)予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。	6月13日(月)予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。

■支給物品

ウェア・キャップ など

※ 報酬・食事・交通費の支給はなし。

今後の主なスケジュールについて

- 4月 5日（火） ■市民アスリートエントリー開始
（～4/11(金) 1000人 先着順）
- 4月 8日（金） ■ランナーエントリー開始（～5/10(火)）
■チャリティランナーエントリー開始（～7/29(金)）
- 5月 ■ボランティア（団体）募集開始
■沿道応援イベント参加者募集開始
- 6月 ■ボランティア（個人）募集開始
■ケイ・オプティコム Presents
大阪マラソン公式ランニングイベントの開催（19日（日））
（ヤンマースタジアム長居）
●大阪マラソン組織委員会（第18回）
- 9月 ●大阪マラソン組織委員会（第19回）
- 10月 ■商店街等との連携によるPR展開 <予定>
- 10月28日（金） ★大阪マラソン EXPO2016（インテックス大阪）
（～30日（日））
- 10月29日（土） ★ウェルカムパーティー
- 10月30日（日） ☆「第6回大阪マラソン
～OSAKA MARATHON 2016～」開催
★大阪マラソン沿道応援イベント開催

第6回大阪マラソンに向けた検討内容について

資料9

重点的な取組	第6回に向けた検討事項例
大阪マラソンならではの魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> ○なないろチーム対抗戦の内容見直し (閉会セレモニー時に結果発表、優勝チーム全員へのスペシャル特典進呈等) ○盛上げ隊による応援強化 (ランナーから見えやすい場所への設置等) ○関連イベントのPR強化
大会の国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○府市を通じた在阪総領事館等へのアプローチ ○海外マラソンとの協力関係の構築(相互PR等) ○おもてなしの強化
ランナーの応募増加につながる取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○連続落選者枠の拡大 (3,000人、第3・4・5回の連続落選者を対象) ○ランナーサービスの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・無料シャトルバスの増便(帰路) ・(事業者責任による)有料シャトルバスの新設(帰路) ・ランナーアンケート結果、他大会先進事例の活用
チャリティ事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○全ランナー最低2口(1,000円)の寄付を2つの色に分割 ○チャリティ事業のPR強化 ○チャリティアンバサダーの積極的活用